

第10回 直方市中心市街地活性化協議会 議事録

(開催要領)

開催日時：平成24年7月11日(水) 11時00分～12時00分

場 所：直方商工会議所 4階 大ホール

出席委員：委員総数 29名 出席委員 19名

オブザーバー 9名

定刻、前記のとおり出席があったので、事務局より開会を宣し、内藤会長が挨拶した後、議長となって議事に移る。

(1)平成23年度 事業報告・収支決算について

事務局より、平成23年度 事業報告が下記の通り行われた。

【平成23年度 事業報告】

1. 直方市中心市街地活性化協議会の開催
2. 中心市街地活性化基本計画の事業評価
3. チャレンジショップ事業への支援
4. 中心市街地活性化事業への支援

引き続き、事務局より、平成23年度直方市中心市街地活性化協議会収支決算について報告された後、大塚監事より監査報告がなされた。その後、議長は、本件について可否を問うたところ、一同異議なくこれを承認した。

(2)平成24年度 事業計画(案)・収支予算(案)について

事務局より、平成24年度 事業計画(案)について説明が下記の通り行われた。

【平成24年度 事業計画(案)】

1. 直方市中心市街地活性化協議会の開催
2. 中心市街地商業活性化基本計画の事業評価
3. 民間事業への支援
4. 中心市街地活性化事業への支援
5. 中心市街地商業活性化アドバイザーの活用

引き続き、事務局より、平成24年度収支予算(案)について提案がなされた。その後、議長は、本件について可否を問うたところ、一同異議なく承認された。

(3) 中心市街地活性化事業の進捗状況及び効果の検証について

直方市役所 産業振興課 小川課長より、直方市中心市街地活性化基本計画の概要について説明がなされ、その後、以下の趣旨により認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップについての報告がなされた。

基本計画掲載事業38事業のうち「総合流域防災事業」「JR直方駅建替え事業」の2事業が完了、18事業が実施中である。事業の進捗状況として、都市機能の強化に向けた「直方駅地区交通結節点改善事業」では駅前広場整備により公共交通の乗り継ぎの一元化を図り、「須崎町土地区

画整理事業」では、直方病院（旧筑豊病院）移転事業が進み、区域内に完成した共同住宅も順調な入居状況である。「空ビル再生事業」「チャレンジショップ事業」では、もち吉ビル1階にイベントスペース、バリアフリートイレ等が整備され、飲食店7店が出店する「ビストロ直方」がオープンした。「殿町伝統的建造物群保存事業」では、調査事業が終了し、まちづくり制度等の整備を行い、電子案内板の整備、レトロタウンマップを作成して歴史と文化を活かしたまちづくりに取り組んでいる。

事業効果の検証について、これらの事業実施により、目標①の「中心部の都市機能を強化し、利便性を高めることによる賑わいの向上」（指標：歩行者・自転車通行量）については、目標値8,430人/日（平成25年度）に対して平成23年度実績7,074人/人であった。また、目標②の「歴史と文化を活かした新たな魅力の発掘による交流人口の増加」（指標：街なか文化施設利用者数）については、目標値42,400人/年（平成25年度）に対して平成23年度実績38,911人/年であった。厳しい経済状況等により事業スケジュールの遅れはあるものの事業は着実に進捗しており、直方病院の開業、共同住宅の建設等により、居住人口及び流入人口の増加により、「自転車・歩行者通行量」の増加も期待できる。また、「街なか文化施設利用者数」についても、平成15年度から平成19年度までの平均値39,715人を平成25年度の推計値としており、平成20年度から平成22年度までの平均値は40,710人であり、推計値比で99.5人増加している。こうした結果に基づき、今後も着実に事業を進めていくことにより目標達成は可能であるとの報告がなされ、各事業の進捗状況について個別に報告がなされた。

引き続き、直方市中心市街地整備振興課 本浪課長より、直方駅周辺の工事状況について以下のとおり報告がなされた。

JR直方駅前からゆたか橋につながる「直方駅我孫子線」は7月10日に開通しており、「北自由通路」は上り口の移動及び追加工事を行うため、8月1日から2ヶ月程度通行止めとなる。また、「直方駅前広場整備」は平成25年夏頃に完成する予定であり、直方駅前の仮設ロータリーは平成25年初め頃まで設置した後、以降は交差点となるため撤去される。「山部口広場及び山部高木線」については平成25年秋から平成27年春にかけて事業を進める予定となっているとの報告がなされた。

議長が本件についての意見質問を募ったところ、商店街では若年層の購買力が不足しているが、若年者に対してのリサーチ等を行っているのかとの質疑があり、事務局より、若年者のみに対してのリサーチは行っていないが、商店街の来街者に対してのアンケートは行っており「ビストロ直方」の食のテーマに生かしている。若年者に対しては、商店街内に筑豊高校のチャレンジショップ「プラタナス」や大和清藍高校の「たくみのたまご」の出店があり、そこを拠点とした若年者の集客に期待していると回答がなされる。それに対して、若年者を呼び込むには楽しさが重要なので今後検討していくべきではないだろうかとの意見がある。

以上により、議事が終了したので12時00分閉会した。